

ひまわりプロジェクト 2015

事務局から 進捗状況をご報告

◇今年度の栽培協力者さんの特徴は

現在約八〇件の参加申込みのあるひまわりプロジェクト。既に初年度の総件数を越え、全国各地から栽培協力の声が上がっている。

複数件の個人や団体を取りまとめている団体も多く、実際には八〇件以上の協力者がいることが予想される。種の量にすると、約二〜キログラム（およそ二五万粒）もの申込みがあった。

ひまわりプロジェクトでは、協力者の栽培面積に応じた量の種を送付している。プランターや広大な休耕地など、栽培地は三者三様であるが、福

島への強い思いには変わりはないのだと、協力者とのやりとりの中で感じている。

今年の協力者の特徴として、教育機関が多いように思われる。これまで幼稚園・保育園から大学まで幅広い教育機関が栽培に協力してきたが、今年は何年以上の増加率である。

これからの日本を担う多くの学生や子どもたちが、福島への支援を自らの手によって行う機会となる。単なる被災地支援だけでなく、教育機関や学生、子どもたちとの間で形成されたネットワークがセーフティネットとなり、永く続くものとなることを願う。

先月に引き続き、ひまわりの栽培に関するQ&Aを紹介していきたい。ひまわりの種が手元に届き、暖かい地域では既に播種の済んだ箇所もあるのではないだろうか。今回は播種後から芽生えに関するQ&Aを三点記載する。

ひまわり栽培のQ&A



Q1. 間引きの時期・方法は？

A1. 芽が出て、双葉が開いたら一本になるように間引きします。間引きは、残すほうの根を傷めないよう地際からハサミなどで切るのが良い方法ですが、他に芽が出ない個所がある場合には、そっと抜いたものを移植することも出来ます。

Q2. 芽が出てすぐに鳥に食べられた。

A2. 芽生えは鳥の大好物なので、すぐ食べられてしまうため要注意です。育苗したものを植えることで避けられますが、大量だと手間が大変ですので、すじ蒔き（人手があれば点蒔き）で直に蒔く方が現実的です。
*すじ蒔き…土に溝を

作って筋状に蒔いていく方法
*点蒔き…一カ所の蒔き穴に数粒ずつ種をまく方法

Q3. 水やりの頻度は？

A3. 種まきから芽が出るまでの約一週間は、朝晩の二回水やりをして土の表面が乾かないようにしましょう。また、ポット等からの植え替えをする際には、水分が失われますので、朝昼晩の三回水やりをしましょう。



栽培協力・栽培技術に関する問い合わせは下記まで。（栽培技術のお問い合わせに関しては、栽培アドバイザーに相談の上での返事となりますので、多少お時間をいただきます。）申込みの期限は明確には設定していませんが、ひまわりの成育に影響の少ない六月初旬〜中旬まで募集を行う予定である。（Y・K）

2014年収穫分の油が入荷しました！
ふくしまとみんなをつなぐひまわり油
みんなの手



会員価格
1,000円
~~1,200円~~

1本内容量 180g
定価 ¥1,200 (税込) のところ
シャローム会員さん &
栽培ボランティアさんには
特別価格 ¥1,000 で販売しております。

*ご注文/お問合せはNPO法人シャローム事務局までどうぞ！

◇栽培協力応募・お問い合わせ先◇

ひまわりプロジェクト実行委員会 (担当: 川島)
〒960-8035 福島県福島市本町 5-31
TEL: 024-524-2230
FAX: 024-525-8285
E-mail: yukari.k@nposhalom.net

※参加申込書をお持ちの方は栽培面積等必要事項をご記入の上、上記宛先までお送り下さい。
※参加申込書をお持ちでない方はこちらからご送付させていただきますので、FAX 番号、メールアドレス、ご住所のいずれかをお伝え下さい。